

評価結果概要版



令和5年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	社会福祉法人黎明会
事業所名称	デイサービスやすらぎ
事業所所在地	東京都小平市小川町1丁目485番地特別養護老人ホームやすらぎの園1階
事業所電話番号	042-345-0617

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1)明るく、温かく、安全で快適な環境の提供 2)豊かな人間関係と科学性に基づく自立援助 3)利用者の個別性と意思を尊重したプランニングとサービスの実践 4)利用者、家族、第三者、職員の声を反映させ、風通し良く前進する施設 5)社会福祉事業者として、在宅生活困難（困窮）高齢者の使命を果たす

全体の評価講評

特に良いと思う点

・利用者の毎日の行動記録を申し送りノートに記載し、さらに必要事項を支援ソフトに入力して職員間で情報共有を図っています

毎日の利用者の動きは申し送りノートに記載して、職員間で情報を共有しています。また、業務の日誌を支援ソフトでパソコンに入力しており、日誌の中に特に利用者の名前が出てきたときには、その情報が自動的に利用者の個別ファイルに記録されていくシステムとなっています。これらの情報がアセスメント時に活用されています。また、居宅介護支援事業所や利用者が利用している他のサービス事業所とインターネットで繋がっているところもあり、利用者の状態像が容易に連絡でき、サービス提供が円滑に進むことも可能となっています。

・多様なプログラムを用意し、利用者一人ひとりが自分の好きな活動に意欲的に参加しています

レクリエーションや趣味活動は、刺し子、パッチワーク、織物、塗り絵、絵画、書道、生け花、折り紙、歌遊び、音楽療法、軽体操、リハビリ体操等の多様なプログラムを用意し、利用者の主体性を尊重し自主的に選んでもらえるようにしています。個人プログラムや集団プログラムを日常的に実施し、利用者一人ひとりが自分の好きな活動に興味を持って意欲的に参加できるよう努めています。集団での活動が苦手な一人では過ごしたい利用者には、希望に応じて個別対応に取り組んでいます。

さらなる改善が望まれる点

・業務の標準化を図る意味からも、分からないことや困ったことがあった時にはマニュアルに立ち返る習慣をつけていくことが期待されます

業務の標準化という視点からみると、マニュアルに沿った支援は重要です。しかし現在は日常の支援に関して、職員は支援に困ったときに業務の点検手段としてマニュアル類を必ずしも活用するようにはなっていないことがアンケート結果からうかがえます。マニュアルに沿わない支援をしていくなれば、職員ごとに支援が異なっていく、業務の標準化からは逸脱していくこととなります。このことを防いでいくためには、困ることがあったり分からないことがあった場合にはマニュアルに立ち返るといった習慣をつけていくことが期待されます。

・食事・入浴支援やオムツ交換等の学習会や研修等で、介護技術の向上が図れる取り組みが期待されます

食事、入浴、排泄支援等は、利用者一人ひとりの状態に合わせた介助方法で対応して、利用者が安心して生活でき

るよう努めています。利用者のニーズに対応した介護力・看護力の向上と介護知識や技術の習得のために、口腔ケア、感染症、褥瘡予防、介護事故予防等の施設内研修を実施しています。事業所としては介護技術のスキルアップが必要と認識しています。食事・入浴支援やオムツ交換等の学習会や研修等で、介護技術の向上が図れる取り組みが期待されます。

・

事業者が特に力を入れている取り組み

・居宅介護支援事業所と密接な関係を築いて、利用者情報を共有しています

利用者のサービスを開始するにあたって、居宅介護支援事業所からの情報は必要不可欠です。サービス利用計画を入手し利用者の基本情報が得られます。利用者宅を訪問し、家庭の状況や家族関係等も把握する時にも同行してもらい、利用者や家族等のサービスに対する意向や要望を把握しています。利用開始後のアセスメントでもケアマネジャーによる担当者会議で関係機関で情報共有を図っていきます。このような関係の中で居宅介護支援事業所からの新規の利用者の紹介やサービス終了後の対応にも支援事業所との良好な関係維持は不可欠です。

・日常的な動作がリハビリにつながるように、積極的な支援に努めています

利用者の体力や機能の低下を予防し、日常生活に必要な基本動作の維持向上を図るために、機能訓練指導員が利用者一人ひとりの身体機能に応じた個別機能訓練計画に基づいて実施しています。利用者の月間目標を設定し、日常生活の中で生活機能の維持や改善に向けた取り組みを個別におこなっています。具体的には、利用者の状況に合わせた歩行や車イスから椅子への移乗等、日常的な生活動作がリハビリにつながるように、積極的な支援に努めています。また、運動系のプログラムも取り入れて、利用者の残存機能の維持、向上に力を入れています。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

23/63

はい どちらともいえない いいえ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	78.0%	17.0%	いいえ：4.0%	無回答・非該当：0.0%
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	82.0%	8.0%	8.0%	どちらともいえない：0.0%
3. 利用中に興味・関心が持てる行事や活動があるか	69.0%	26.0%	いいえ：4.0%	無回答・非該当：0.0%
4. 個別の計画に基づいた事業所での活動・機能訓練（体操や運動など）は、在宅生活の継続に役立つか	78.0%	21.0%	いいえ：0.0%	無回答・非該当：0.0%
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	91.0%	8.0%	いいえ：0.0%	無回答・非該当：0.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	100.0%		どちらともいえない：0.0%	いいえ：0.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	95.0%		どちらともいえない：4.0%	いいえ：0.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	100.0%		どちらともいえない：0.0%	いいえ：0.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	78.0%	8.0%	13.0%	いいえ：0.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	100.0%		どちらともいえない：0.0%	いいえ：0.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	95.0%		どちらともいえない：4.0%	いいえ：0.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	91.0%	8.0%	いいえ：0.0%	無回答・非該当：0.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	91.0%	8.0%	いいえ：0.0%	無回答・非該当：0.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	91.0%	8.0%	どちらともいえない：0.0%	いいえ：0.0%
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	69.0%	13.0%	17.0%	いいえ：0.0%